

西暦 2026 年 4 月 14 日

## 臨床研究に関する公開情報

横須賀共済病院では、より良い診断・治療を目標として様々な臨床研究を行なっております。今回下記の臨床研究を実施いたしますので、研究の計画・方法についてお知りになりたい場合、患者さまご自身のカルテ情報や検体・試料を研究に利用されることをご了承できない場合などがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、研究にご了承できないことをお申し出なさった場合でも、患者さまの診療に不利益が生じることは一切ございません。

[研究課題名] びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫における Pola-R-CHP 療法と R-CHOP 療法の有効性と安全性の比較

[研究責任者] 金子 憲太郎

[研究の概要]

ポラツズマブ・ベドチンは、びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫（DLBCL）に適応を持つ、近年上市された治療薬であり、細胞の表面に出ている CD79b というタンパク質を標的と

して働き、がん細胞を減少させるという特徴的な薬理作用があります。そのため、リツキシマブとシクロホスファミド、ドキソルビシン、プレドニゾロンの4剤と組み合わせた治療（Pola-R-CHP 療法）により、リンパ腫を小さくする効果が期待されています。しかし、現時点では、どのような患者背景において Pola-R-CHP 療法の有効性が高く、かつ安全に使用できるかについての情報は十分ではありません。

日本において、ポラツズマブ・ベドチンは 2021 年から使用できるようになったため、実臨床における使用実績は多くはなく、その有効性・安全性に関する患者背景因子については十分に解明されていません。また、Pola-R-CHP 療法とともに、DLBCL の標準治療として推奨されているリツキシマブ、シクロホスファミド、ドキソルビシン、ビンクリスチン、プレドニゾロンの 5 剤を組み合わせた R-CHOP 療法と比較した際の Pola-R-CHP 療法の有効性・安全性についても十分に解明されていません。そこで本研究では、Pola-R-CHP 療法または R-CHOP 療法での治療を行った DLBCL 患者の診療情報から臨床データを収集・解析・評価することで、有効性および安全性を明らかにするとともに、それらに関連する患者背景因子を検討します。これにより、

Pola-R-CHP 療法を有効かつ安全に使用可能な患者群を明らかにし、薬学的視点から DLBCL 治療における適正使用の推進に資することを目的とします。得られた知見は、今後の DLBCL 治療戦略の構築において有益な情報となることが期待されます。

## [研究の方法]

### ●対象となる患者さん

びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の患者さまで、2022 年 10 月 1 日から 2030 年 4 月 30 日の間に Pola-R-CHP 療法または R-CHOP 療法の治療を受けた方

### ●研究に用いるカルテ情報、試料・検体

カルテ情報：

情報：病歴、診療の治療歴、Pola-R-CHP 療法または R-CHOP 療法の有効性または副作用の発生状況、臨床検査値の推移（白血球数、腎機能検査値、肝機能検査値 等） 等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

[研究の期間] 横須賀共済病院 臨床研究倫理審査委員会  
承認後から

2030 年 04 月 30 日まで

[研究の発表] 学会や論文等で結果を公表させていただく  
予定です。

[問い合わせ先]

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報・試料が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

〒238-8558 神奈川県横須賀市米が浜通 1-16

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院

電話 046-822-2710（代表）（平日 午前 8 時 30 分から午後 17 時 15 分まで）

#### 連絡先対応者

研究責任者 薬剤科 金子 憲太郎

＊お問い合わせ内容によっては、こちらから改めてご連絡をさせて頂くことがあります。あらかじめご了承ください。

以上